

〈Review〉 Accent Data of Adjective Inflection in
a Dialect Near to Izuta Shrine, Kochi Prefecture

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-03-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 高山, 林太郎 メールアドレス: 所属:
URL	https://saigaku.repo.nii.ac.jp/records/1575

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



資料紹介

高知県伊豆田神社付近の方言の形容詞活用形のアクセント資料

Accent Data of Adjective Inflection in a Dialect Near to Izuta Shrine,
Kochi Prefecture

高山 林太郎
TAKAYAMA, Rintaro

1. 本資料の説明と備考

本資料の方言話者は高山 (2018a, 2018b, 2019) の話者のうち、高知市出身在住者の下原瑞恵氏 (1946年生れ女性; 記号「瑞」; 中央式アクセント古態) と、高知県幡多郡三原村成山方言話者の池上博光氏 (1947年生まれ男性; 記号「博」; 中輪東京式アクセント古態) であり (姓名の公開に了承を得ている)、今回の調査票を用いて「瑞、博」とも2022年2月に電話調査し、録音している。読み上げ調査を実施したが、聞き取りにくかったり不明点があったりした場合は内省調査のように丁寧に聞き直しているので、全ての調査項目でアクセントが確定している。形容詞アクセントは終止連体形については9拍語まで発表済みで、その他の活用形・派生形も一部を発表済みだが、本稿では基本的な活用形・派生形について7拍語まで調査し (表1)、その分析を示す。「博」は形容詞の終止連体形の2型 (にけい) 対立を7拍語まで示す話者だが、今回、活用形・派生形にも少なくとも6拍語まで2型対立が存在することが分かった。

表1の記号を説明する。「番」は調査項目の通し番号である。「例文」は調査票に掲載されていた例文とほぼ同じものだが、「瑞、博」に記載のそれぞれのアクセント型は、問題となる文節のものだけを記しているので注意されたい。アクセント体系の詳細は高山 (2018b) を参照されたい。

調査項目の形容詞は2～7拍語で、それぞれの拍

数に「博」の語末核型と次末核型がそれぞれ2語ずつ揃うように選んだ。しかし2拍語の「酸い」は非日用語で、規則的な音韻対応を示していない。また、7拍語の次末核型の「心許無い、手っ取り早い」も「博」では「無い、早い」のアクセントが活かされる2単位形で、1単位形としての7拍語の次末核型のアクセントのデータは得られていない。また、「大人しい」は「瑞」では低起式だが、これは院政期に由来する2型対立とは関係の無い特徴で、今回見ている音韻対応とは関係が無い。そもそも「瑞」の属する高知市方言では3拍語までしか古い2型対立が存在せず、4拍語以上は1型 (いっけい) に統合してしまっている。

それぞれの形容詞に対して、「終止用法、連体用法、～のは (非方言形)、～がは (「のは」の方言形)、～ロー (推量形)、～カロー (推量形)、連用形音便形、連用形非音便形 (非方言形)、テ形音便形、テ形非音便形 (非方言形)、テ形重複音便形、テ形重複非音便形 (非方言形)、～カッタ (過去形)、～カッタラ (仮定形)、～ケレバ (仮定形)、～サ (名詞化形)、～サが (名詞化形+が)」の17項目を調べている。26×17=442であり、「番」は442番までである。つまり形容詞は26語調べているが、「濃い、酸い」も調べているので4×6=24より2語多くなっている。なお「酸い」は非方言形と考えて差し支えないが、「濃い」は「濃い、酸い」と共に方言形であると確認している。

キーワード: 日本語諸方言、高知県、アクセント、形容詞、活用

Key words: Japanese dialects, Kochi Prefecture, accent, adjectives, inflection

アクセント表記は上野（2006: 2）に則る。「[」は拍間の上昇（[○○は「高高」、[」は拍間の下降（[○]○は「高低」、[」]は拍内での下降（[○○]は「高降」、[○]は拍（本稿ではモーラに等しい）を指す。「博」など中輪東京式方言の丸付数字（①、②、③、…）は数字が0なら無核、1以上なら語頭からnモーラ目に下げ核があることを表す（本来は丸付数字で表すべきものだが、表1の「博」のデータは紙幅の都合で丸を付けずに表している）。「○]」または「○]]」のある拍に「下げ核」がある。例えば語頭から数えて2拍目の右側に下がり目があれば②型である。「瑞」など中央式方言のHは高起式（高く始まる声調）、Lは低起式（低く始まり上昇する声調）を表し、Hn, Lnのnは0なら無核、1以上なら語頭からnモーラ目に下げ核があることを表す。L3A, L3B, L3ABなどのAは上昇位置が1拍目と2拍目の間で（L3Aの型：○[○○]○）、Bは上昇位置が2拍目と3拍目の間で（L3Bの型：○○[○]○）、ABはAとBの併用を表すが、AやBは弁別的特徴ではない。

アクセント型のデータの中で「,」（カンマ）は併用を表すが、「.」（ピリオド）はアクセント単位の切れ目を表し、ピリオド前後で2単位形を表している。以下で個別に備考を説明する中で一緒に説明する。「N011 [コ]ーて[コ]ーて。H1.H1」のように、主にテ形重複の場合に2単位形が現れるが、重複の場合はアクセント単位の切れ目が分かり易いので以下同様のものの説明を省略する。「酸い」は音韻対応が不規則だが非日用語だからと見られる。「酸ゆい」は「博」の分節音が原則として「スイイ」であり「ユ」が「イ」に変わるが、「スユク」は非方言形なので「ユ」のままである。「エイ（良い）」は「瑞」では「エー」であり「イ」が「ー」に変わる。「N153 クロサが分かる。1,1,1」、N170 タカサが分かる。1,1,1,3」の「1.1」は「[ク]ロ[サ]が、[タ]カ[サ]が」である。「難しい」は調査票では「ムツカシイ」と書いたが「瑞」は方言形「ムツカシイ」、「博」は「ムツカシイ」（ヅの発音は/du/だが標準語風の/zu/も可）であった。「恐ろしい」は「博」が方言形「オトロシイ」に言及したが、調査自体は「オソロシイ」で実施した。「擦ったい」は「瑞」が方言形「コソバイ」に言及したが、「クスグッタイ」で調査した。「堅っ苦しい」は「瑞」

が方言形「カタグルシイ」に言及したが、「カタツクルシイ」で調査した。「心許無い、手っ取り早い」は「博」では「無い、早い」のアクセント型が反映する2単位形であるが、データの表記自体は疑似的に1単位形として記している。「N442 テットリバヤサが分かる。5,5,1,7」の「5.1」は「[テットリバ]ヤ[サ]が」である。

2. 本資料の分析

「濃い」の音韻対応（以下「対応」と略す場合がある）に問題は無く、原則として下がり目が右に1拍ずれる（「瑞」から「博」へと；以下同様）。つまり「濃い」は1類で対応している。テ形では下がり目が保持されるのに対してテの付かない連用形（「なる」に続く形）では下がり目が消えるという違いがある（以下同様）。連用形の非音便形（「ク」の付く形）は非方言形のため音便形とはアクセントが異なる場合がある（以下同様）。「濃ゆい」は対応していない（「瑞」は2類で「博」は1類）。「酸い」は対応していない（「瑞」は1類で「博」は1類と2類の混成）。「酸ゆい」は2類で対応している。「無い」は対応していない（「瑞」は1類で「博」は2類）。「良い」は2類で対応している。「甘い、重い」は1類で対応している。「黒い、高い」は2類で対応している。「明るい」以下は「瑞」は低起式の「大人しい」を除けば全て1類相当の形に統合してしまっているので、音韻対応を議論することはできない。「博」については、「明るい、優しい、大人しい、難しい、厚かましい、擦ったい、危なっかしい、堅っ苦しい」は1類、「煩い、嬉しい、美しい、恐ろしい、羨ましい、馴れ馴れしい」は2類の形を各活用形・派生形が示しており、2型対立（1類か2類か）が一貫している。「心許無い、手っ取り早い」は前述の通り2単位形であるため規則通りの2類の形は示さないが、非1類であるという意味では7拍語にも2型対立（1類か非1類か）が存在する。

3. その他の備考

高山（2019）に関連して議論する。前部要素が平板型である複合動詞の内部境界に存在する核が（例：[拭き]込む）、平板型連用形そのものの核に由来す

資料紹介

るという考え方を採らず、複合規則によって新たに生じたとする仮説が存在する(松森 2016: 152-153)。そのような仮説が存在する背景には、平板型のテ形・タ形・狭義の連用形が安定して有核である状態(例:[拭い]て、[拭い]た、[拭き]はする)の方言が未発見で、未発見のものを根拠に論を立てることが躊躇されたという可能性も考えられる。しかし、高山(2019)で発見された。かつて高山(2012: 316-317)が証拠不足ながら述べていた見通しに反して、松森(2016)は「連結アクセント形成型規則」が核を生じたと説明する。つまり、東京方言の複合名詞には「後部要素の韻律保持型規則」と「連結アクセント形成型規則」があり、それで複合動詞にも(類推変化によって?)「連結アクセント形成型規則」があつてよいと考えているとみられる。これは因果関係が逆転した解釈ではないかと筆者は考える。筆者の考えでは、歴史的な理由で先に核が存在していて、それが後の時代に規則を生じたということになる。

参考文献

- 上野善道(2006)「日本語アクセントの再建」『言語研究』130: 1-42.
- 高山林太郎(2012)「岡山市方言の複合動詞のアクセント」『東京大学言語学論集』32:305-332. 東京: 東京大学言語学研究室.
- 高山林太郎(2018a)『タツスイのツとは何か』高知: リーブル出版.
- 高山林太郎(2018b)「高知県伊豆田神社付近の方言のアクセント」『音声研究』22(3): 1-16. 東京: 日本音声学会.
- 高山林太郎(2019)「高知県伊豆田神社付近の方言の複合動詞のアクセント」『第33回日本音声学会全国大会予稿集』80-85. 東京: 清泉女子大学. 2019年9月29日.
- 松森晶子(2016)「複合語アクセントが日本語史研究に提起するもの」『国立国語研究所論集』10: 135-158. 立川: 国立国語研究所.

表 1. 高知県伊豆田神社付近の方言の形容詞活用形のアクセント資料

番	例文	瑞	博	番	例文	瑞	博
N001	コイ。(濃い)	H1	2	N222	ウレシイ。(嬉しい)	H2,H3	3
N002	コイとき。	H1	2	N223	ウレシイとき。	H2,H3	3
N003	コイのは有る。	H1	2	N224	ウレシイのは有る。	H2,H3	3
N004	コイがは有る。	H3	2,3	N225	ウレシイがは有る。	H5	3
N005	コイロー。	H1	2	N226	ウレシイロー。	H2,H3	3
N006	ココロー。	H1	2	N227	ウレシカロー。	H3	2
N007	コユなる。	H1	0	N228	ウレシユなる。	H2,H3	2
N008	コクなる。	H1	1	N229	ウレシクなる。	H3	2
N009	コユて良い。	H1	2	N230	ウレシユて良い。	H2,H3	2
N010	コクて良い。	H1	1	N231	ウレシクて良い。	H3	2
N011	コユてコユて。	H1,H1	2,2	N232	ウレシユてウレシユて。	H2,H2,H3,H3	2,2
N012	コクてコクて。	H1,H1	1,1	N233	ウレシクてウレシクて。	H3,H3	2,2
N013	コカッタ。	H1	3	N234	ウレシカッタ。	H3	2
N014	コカッタ良い。	H1	3	N235	ウレシカッタ良い。	H3	2
N015	コケレバ良い。	H1	2	N236	ウレシケレバ良い。	H3,H4	2
N016	コサ。	H0,H1	1,2	N237	ウレシサ。	H0	2,4,3
N017	コサが分かる。	H0,H1	1,2	N238	ウレシサが分かる。	H0	2,4,3
N018	コユイ。(濃い)	H1	3	N239	オトナシイ。(大人しい)	L4AB,L3A	5
N019	コユイとき。	H1	3	N240	オトナシイとき。	L4AB,L3A	5
N020	コユイのは有る。	H1	3	N241	オトナシイのは有る。	L4AB,L3A	5
N021	コユイがは有る。	H4	3,4	N242	オトナシイがは有る。	L6AB	5,6
N022	コユイロー。	H1	3	N243	オトナシイロー。	L4AB,L3A	5
N023	コユカロー。	L2	3	N244	オトナシカロー。	L4AB	5
N024	コユユなる。	L2	0	N245	オトナシユなる。	L4AB,L3A	0
N025	コユクなる。	L2	2	N246	オトナシクなる。	L4A	4
N026	コユユて良い。	L2	3	N247	オトナシユて良い。	L4AB,L3A	5,3
N027	コユクて良い。	L2	2	N248	オトナシクて良い。	L4A	4
N028	コユユてコユユて。	L2,L2	3,3	N249	オトナシユてオトナシユて。	L4AB,L4AB,L3A,L3A	5,5,3,3
N029	コユクてコユクて。	L2,L2	2,2	N250	オトナシクてオトナシクて。	L4A,L4A	4,4
N030	コユカッタ。	L2	4	N251	オトナシカッタ。	L4AB	6
N031	コユカッタ良い。	L2	4	N252	オトナシカッタ良い。	L4AB	6
N032	コユケレバ良い。	L2	3	N253	オトナシケレバ良い。	L5AB,L4AB	5
N033	コユサ。	LOAB,H0	3,0	N254	オトナシサ。	LOAB	3,4,5
N034	コユサが分かる。	LOAB,H0	3,0	N255	オトナシサが分かる。	LOAB	3,4,5

埼玉学園大学紀要（人間学部篇） 第22号

N035	スイ。(酸い)	H1	2	N256	ムツカシイ。(難しい)	H3,H4	5
N036	スイとき。	H1	2	N257	ムツカシイとき。	H3,H4	5
N037	スイのは有る。	H1	2	N258	ムツカシイのは有る。	H3,H4	5
N038	スイがは有る。	H3	2	N259	ムツカシイがは有る。	H6	5,6
N039	スイロー。	H1	2	N260	ムツカシイロー。	H3,H4	5
N040	スカロー。	H1	1	N261	ムツカシカロー。	H4	5
N041	スーなる。	H1	1	N262	ムツカシユーなる。	H3,H4	0
N042	スクなる。	H1	1	N263	ムツカシクなる。	H4	4
N043	スーて良い。	H1	1	N264	ムツカシユーて良い。	H3,H4	5
N044	スクて良い。	H1	1	N265	ムツカシクて良い。	H4	4
N045	スーてスーて。	H1,H1	1.1	N266	ムツカシユーて ムツカシユーて。	H3,H3,H4,H4	5,5,3,3
N046	スクてスクて。	H1,H1	1.1	N267	ムツカシクてムツカシクて。	H4,H4	4,4
N047	スカッた。	H1	1	N268	ムツカシカッた。	H4	6
N048	スカッたら良い。	H1	1	N269	ムツカシカッたら良い。	H4	6
N049	スケレバ良い。	H1	1	N270	ムツカシケレバ良い。	H4,H5	5
N050	スサ。	H0	1,2	N271	ムツカシサ。	H0	3,4,5
N051	スサが分かる。	H0	1,2	N272	ムツカシサが分かる。	H0	3,4,5
N052	スユイ。(酸ゆい)	H1	2	N273	ウツクシイ。(美しい)	H3,H4	4
N053	スユイとき。	H1	2	N274	ウツクシイとき。	H3,H4	4
N054	スユイのは有る。	H1	2	N275	ウツクシイのは有る。	H3,H4	4
N055	スユイがは有る。	H4	2	N276	ウツクシイがは有る。	H6	4
N056	スユイロー。	H1	2	N277	ウツクシイロー。	H3,H4	4
N057	スユカロー。	L2	1	N278	ウツクシカロー。	H4	3
N058	スユーなる。	L2	1	N279	ウツクシユーなる。	H3,H4	3
N059	スユクなる。	L2	1	N280	ウツクシクなる。	H4	3
N060	スユーて良い。	L2	1	N281	ウツクシユーて良い。	H3,H4	3
N061	スユクて良い。	L2	1	N282	ウツクシクて良い。	H4	3
N062	スユーてスユーて。	L2,L2	1.1	N283	ウツクシユーて ウツクシユーて。	H3,H3,H4,H4	3,3
N063	スユクてスユクて。	L2,L2	1.1	N284	ウツクシクてウツクシクて。	H4,H4	3,3
N064	スユカッた。	L2	1	N285	ウツクシカッた。	H4	3
N065	スユカッたら良い。	L2	1	N286	ウツクシカッたら良い。	H4	3
N066	スユケレバ良い。	L2	1	N287	ウツクシケレバ良い。	H4,H5	3
N067	スユサ。	L0AB	1	N288	ウツクシサ。	H0	3
N068	スユサが分かる。	L0AB	1	N289	ウツクシサが分かる。	H0	3
N069	ナイ。(無い)	H1	1	N290	オソロシイ。(恐ろしい)	H3,H4	4
N070	ナイとき。	H1	1	N291	オソロシイとき。	H3,H4	4
N071	ナイのは有る。	H1	1	N292	オソロシイのは有る。	H3,H4	4
N072	ナイがは有る。	H3	1	N293	オソロシイがは有る。	H6	4
N073	ナイロー。	H1	1	N294	オソロシイロー。	H3,H4	4
N074	ナカロー。	H1	2	N295	オソロシカロー。	H4	3
N075	ノーなる。	H1	1	N296	オソロシユーなる。	H3,H4	3
N076	ナクなる。	H1	1	N297	オソロシクなる。	H4	3
N077	ノーて良い。	H1	2	N298	オソロシユーて良い。	H3,H4	3
N078	ナクて良い。	H1	1	N299	オソロシクて良い。	H4	3
N079	ノーてノーて。	H1,H1	2,2	N300	オソロシユーて オソロシユーて。	H3,H3,H4,H4	3,3
N080	ナクてナクて。	H1,H1	1,1	N301	オソロシクてオソロシクて。	H4,H4	3,3
N081	ナカッた。	H1	3	N302	オソロシカッた。	H4	3
N082	ナカッたら良い。	H1	3	N303	オソロシカッたら良い。	H4	3
N083	ナケレバ良い。	H1	2	N304	オソロシケレバ良い。	H4,H5	3
N084	ナサ。	H0,H1	1,2	N305	オソロシサ。	H0	3
N085	ナサが分かる。	H0,H1	1,2	N306	オソロシサが分かる。	H0	3
N086	エイ。(良い)	L0	1	N307	アツカマシイ。 (厚かましい)	H4,H5	6
N087	エイとき。	L0AB	1	N308	アツカマシイとき。	H4,H5	6
N088	エイのは有る。	L2	1	N309	アツカマシイのは有る。	H4,H5	6
N089	エイがは有る。	L3AB	1	N310	アツカマシイがは有る。	H7	6,7
N090	エイロー。	L2	1	N311	アツカマシイロー。	H4,H5	6
N091	ヨカロー。	H1	2	N312	アツカマシカロー。	H5	6
N092	ヨーなる。	H1	1,0	N313	アツカマシユーなる。	H4,H5	0,4
N093	ヨクなる。	H1	1	N314	アツカマシクなる。	H5	5
N094	ヨーて良い。	H1	2	N315	アツカマシユーて良い。	H4,H5	6,4
N095	ヨクて良い。	H1	1	N316	アツカマシクて良い。	H5	5
N096	ヨーてヨーて。	H1,H1	2,2	N317	アツカマシユーて アツカマシユーて。	H4,H4,H5,H5	6,6,4,4
N097	ヨクてヨクて。	H1,H1	1,1	N318	アツカマシクて アツカマシクて。	H5,H5	5,5
N098	ヨカッた。	H1	3	N319	アツカマシカッた。	H5	7
N099	ヨカッたら良い。	H1	3	N320	アツカマシカッたら良い。	H5	7
N100	ヨケレバ良い。	H1	2	N321	アツカマシケレバ良い。	H5,H6	6

資料紹介

N101	ヨサ。	L2,H0,H1	1,2	N322	アツカマシサ。	H0	4,5,6
N102	ヨサが分かる。	L2,H0,H1	1,2	N323	アツカマシサが分かる。	H0	4,5,6
N103	アマイ。(甘い)	H2	3	N324	クスグツタイ。(搦ったい)	H4,H5	6
N104	アマイとき。	H2	3	N325	クスグツタイとき。	H4,H5	6
N105	アマイのは有る。	H2	3	N326	クスグツタイのは有る。	H4,H5	6
N106	アマイがは有る。	H4	3,4	N327	クスグツタイがは有る。	H7	6,7
N107	アマイロー。	H2	3	N328	クスグツタイロー。	H4,H5	6
N108	アマカロー。	H2	3	N329	クスグツタカロー。	H5	6
N109	アモーなる。	H2	0	N330	クスグツターなる。	H4,H5	0,4
N110	アマクなる。	H2	2	N331	クスグツクなる。	H5	5
N111	アモーで良い。	H2	3	N332	クスグツターで良い。	H4,H5	6,4
N112	アマクで良い。	H2	2	N333	クスグツクで良い。	H5	5
N113	アモーでアモーで。	H2,H2	3,3	N334	クスグツターで クスグツターで。	H4,H4,H5,H5	6,6,4,4
N114	アマクでアマクで。	H2,H2	2,2	N335	クスグツクで クスグツクで。	H5,H5	5,5
N115	アマカッタ。	H2	4	N336	クスグツタカッタ。	H5	7
N116	アマカッタ良い。	H2	4	N337	クスグツタカッタ良い。	H5	7
N117	アマケレバ良い。	H2,H3	3	N338	クスグツタケレバ良い。	H5,H6	6
N118	アマサ。	H0	3	N339	クスグツタサ。	H0	4,5,6
N119	アマサが分かる。	H0	3,0	N340	クスグツタサが分かる。	H0	4,5,6
N120	オモイ。(重い)	H2	3	N341	ウラヤマシイ。(羨ましい)	H4,H5	5
N121	オモイとき。	H2	3	N342	ウラヤマシイとき。	H4,H5	5
N122	オモイのは有る。	H2	3	N343	ウラヤマシイのは有る。	H4,H5	5
N123	オモイがは有る。	H4	3,4	N344	ウラヤマシイがは有る。	H7	5
N124	オモイロー。	H2	3	N345	ウラヤマシイロー。	H4,H5	5
N125	オモカロー。	H2	3	N346	ウラヤマシカロー。	H5	4
N126	オモーなる。	H2	0	N347	ウラヤマシユーなる。	H4,H5	4
N127	オモクなる。	H2	2	N348	ウラヤマシクなる。	H5	4
N128	オモーで良い。	H2	3	N349	ウラヤマシユーで良い。	H4,H5	4
N129	オモクで良い。	H2	2	N350	ウラヤマシクで良い。	H5	4
N130	オモーでオモーで。	H2,H2	3	N351	ウラヤマシユーで ウラヤマシユーで。	H4,H4,H5,H5	4,4
N131	オモクでオモクで。	H2,H2	2	N352	ウラヤマシクで ウラヤマシクで。	H5,H5	4,4
N132	オモカッタ。	H2	4	N353	ウラヤマシカッタ。	H5	4
N133	オモカッタ良い。	H2	4	N354	ウラヤマシカッタ良い。	H5	4
N134	オモケレバ良い。	H2,H3	3	N355	ウラヤマシケレバ良い。	H5,H6	4
N135	オモサ。	H0	3	N356	ウラヤマシサ。	H0	4
N136	オモサが分かる。	H0	3,0	N357	ウラヤマシサが分かる。	H0	4
N137	クロイ。(黒い)	H1	2	N358	ナレナレシイ。 (馴れ馴れしい)	H4,H5	5
N138	クロイとき。	H1	2	N359	ナレナレシイとき。	H4,H5	5
N139	クロイのは有る。	H1	2	N360	ナレナレシイのは有る。	H4,H5	5
N140	クロイがは有る。	H4	2	N361	ナレナレシイがは有る。	H7	5
N141	クロイロー。	H1	2	N362	ナレナレシイロー。	H4,H5	5
N142	クロカロー。	L2	1	N363	ナレナレシカロー。	H5	4
N143	クローなる。	L2	1	N364	ナレナレシユーなる。	H4,H5	4
N144	クロクなる。	L2	1	N365	ナレナレシクなる。	H5	4
N145	クローで良い。	L2	1	N366	ナレナレシユーで良い。	H4,H5	4
N146	クロクで良い。	L2	1	N367	ナレナレシクで良い。	H5	4
N147	クローでクローで。	L2,L2	1,1	N368	ナレナレシユーで ナレナレシユーで。	H4,H4,H5,H5	4,4
N148	クロクでクロクで。	L2,L2	1,1	N369	ナレナレシクで ナレナレシクで。	H5,H5	4,4
N149	クロカッタ。	L2	1	N370	ナレナレシカッタ。	H5	4
N150	クロカッタ良い。	L2	1	N371	ナレナレシカッタ良い。	H5	4
N151	クロケレバ良い。	L2	1	N372	ナレナレシケレバ良い。	H5,H6	4
N152	クロサ。	LOAB	1	N373	ナレナレシサ。	H0	4
N153	クロサが分かる。	LOAB	1,1,1	N374	ナレナレシサが分かる。	H0	4
N154	タカイ。(高い)	H1	2	N375	アブナッカシイ。 (危なっかしい)	H5,H6	7
N155	タカイとき。	H1	2	N376	アブナッカシイとき。	H5,H6	7
N156	タカイのは有る。	H1	2	N377	アブナッカシイのは有る。	H5,H6	7
N157	タカイがは有る。	H4	2	N378	アブナッカシイがは有る。	H8	7,8
N158	タカイロー。	H1	2	N379	アブナッカシイロー。	H5,H6	7
N159	タカカロー。	L2	1	N380	アブナッカシカロー。	H6	7
N160	タコーなる。	L2	1	N381	アブナッカシユーなる。	H5,H6	0,5
N161	タカクなる。	L2	1	N382	アブナッカシクなる。	H6	6
N162	タコーで良い。	L2	1	N383	アブナッカシユーで良い。	H5,H6	7
N163	タカクで良い。	L2	1	N384	アブナッカシクで良い。	H6	6

埼玉学園大学紀要（人間学部篇） 第22号

N164	タコーでタコーで。	L2,L2	1.1	N385	アブナッカシューで アブナッカシューで。	H5,H5,H6,H6	7.7,5.5
N165	タカくてタカくて。	L2,L2	1.1	N386	アブナッカシクで アブナッカシクで。	H6,H6	6.6
N166	タカカッタ。	L2	1	N387	アブナッカシカッタ。	H6	8
N167	タカカッタラ良い。	L2	1	N388	アブナッカシカッタラ良い。	H6	8
N168	タカケレバ良い。	L2	1	N389	アブナッカシケレバ良い。	H6,H7	7
N169	タカサ。	LOAB	1,3	N390	アブナッカシサ。	H0	5,6,7
N170	タカサが分かる。	LOAB	1,1,1,3	N391	アブナッカシサが分かる。	H0	5,6,7
N171	アカルイ。 (明るい)	H2,H3	4	N392	カタツクルシイ。 (堅っ苦しい)	H5,H6	7
N172	アカルイとき。	H2,H3	4	N393	カタツクルシイとき。	H5,H6	7
N173	アカルイのは有る。	H2,H3	4	N394	カタツクルシイのは有る。	H5,H6	7
N174	アカルイがは有る。	H5	4,5	N395	カタツクルシイがは有る。	H8	7,8
N175	アカルイロー。	H2,H3	4	N396	カタツクルシイロー。	H5,H6	7
N176	アカルカロー。	H3	4	N397	カタツクルシカロー。	H6	7
N177	アカルーなる。	H2,H3	0	N398	カタツクルシューなる。	H5,H6	0.5
N178	アカルクなる。	H3	3	N399	カタツクルシクなる。	H6	6
N179	アカルーで良い。	H2,H3	4	N400	カタツクルシューで良い。	H5,H6	7.5
N180	アカルクで良い。	H3	3	N401	カタツクルシクで良い。	H6	6
N181	アカルーで アカルーで。	H2,H2,H3,H3	4.4	N402	カタツクルシューで カタツクルシューで。	H5,H5,H6,H6	7.7,5.5
N182	アカルクで アカルクで。	H3,H3	3.3	N403	カタツクルシクで カタツクルシクで。	H6,H6	6.6
N183	アカルカッタ。	H3	5	N404	カタツクルシカッタ。	H6	8
N184	アカルカッタラ良い。	H3	5	N405	カタツクルシカッタラ良い。	H6	8
N185	アカルケレバ良い。	H3,H4	4	N406	カタツクルシケレバ良い。	H6,H7	7
N186	アカルサ。	H0	4	N407	カタツクルシサ。	H0	5,6,7
N187	アカルサが分かる。	H0	4,0	N408	カタツクルシサが分かる。	H0	5,6,7
N188	ヤサシイ。 (優しい)	H2,H3	4	N409	ココロモトナイ。 (心許無い)	H5,H6	6
N189	ヤサシイとき。	H2,H3	4	N410	ココロモトナイとき。	H5,H6	6
N190	ヤサシイのは有る。	H2,H3	4	N411	ココロモトナイのは有る。	H5,H6	6
N191	ヤサシイがは有る。	H5	4,5	N412	ココロモトナイがは有る。	H8	6
N192	ヤサシイロー。	H2,H3	4	N413	ココロモトナイロー。	H5,H6	6
N193	ヤサシカロー。	H3	4	N414	ココロモトナカロー。	H6	7
N194	ヤサシューなる。	H2,H3	0	N415	ココロモトノーなる。	H5,H6	6
N195	ヤサシクなる。	H3	3	N416	ココロモトナクなる。	H6	6
N196	ヤサシューで良い。	H2,H3	4	N417	ココロモトノーで良い。	H5,H6	7
N197	ヤサシクで良い。	H3	3	N418	ココロモトナクで良い。	H6	6
N198	ヤサシューで ヤサシューで。	H2,H2,H3,H3	4.4	N419	ココロモトノーで ココロモトノーで。	H5,H5,H6,H6	7.7
N199	ヤサシクで ヤサシクで。	H3,H3	3.3	N420	ココロモトナクで ココロモトナクで。	H6,H6	6.6
N200	ヤサシカッタ。	H3	5	N421	ココロモトナカッタ。	H6	8
N201	ヤサシカッタラ良い。	H3	5	N422	ココロモトナカッタラ良い。	H6	8
N202	ヤサシケレバ良い。	H3,H4	4	N423	ココロモトナケレバ良い。	H6,H7	7
N203	ヤサシサ。	H0	4	N424	ココロモトナサ。	H0	6
N204	ヤサシサが分かる。	H0	4,0	N425	ココロモトナサが分かる。	H0	6,7
N205	ウルサイ。 (煩い)	H2,H3	3	N426	テットリバヤイ。 (手っ取り早い)	H6	6
N206	ウルサイとき。	H2,H3	3	N427	テットリバヤイとき。	H6	6
N207	ウルサイのは有る。	H2,H3	3	N428	テットリバヤイのは有る。	H6	6
N208	ウルサイがは有る。	H5	3	N429	テットリバヤイがは有る。	H8	6
N209	ウルサイロー。	H2,H3	3	N430	テットリバヤイロー。	H6	6
N210	ウルサカロー。	H3	2	N431	テットリバヤカロー。	H6	5
N211	ウルソーなる。	H2,H3	2	N432	テットリバヨーなる。	H6	5
N212	ウルサクなる。	H3	2	N433	テットリバヤクなる。	H6	5
N213	ウルソーで良い。	H2,H3	2	N434	テットリバヨーで良い。	H6	5
N214	ウルサクで良い。	H3	2	N435	テットリバヤクで良い。	H6	5
N215	ウルソーで ウルソーで。	H2,H2,H3,H3	2.2	N436	テットリバヨーで テットリバヨーで。	H6,H6	5.5
N216	ウルサクで ウルサクで。	H3,H3	2.2	N437	テットリバヤクで テットリバヤクで。	H6,H6	5.5
N217	ウルサカッタ。	H3	2	N438	テットリバヤカッタ。	H6	5
N218	ウルサカッタラ良い。	H3	2	N439	テットリバヤカッタラ良い。	H6	5
N219	ウルサケレバ良い。	H3,H4	2	N440	テットリバヤケレバ良い。	H6,H7	5
N220	ウルササ。	H0	2,4,3	N441	テットリバヤサ。	H0	5
N221	ウルササが分かる。	H0	2,4,3	N442	テットリバヤサが分かる。	H0	5.5,1.7